

議会だより

第19代議会 議会構成決定

議長に 湯本 晴彦氏 決まる
副議長に 白鳥 金次氏



副議長
白鳥 金次



議長
湯本 晴彦

就任にあたり

町議会議長
湯本 晴彦

今回12年ぶりの選挙を経て、19代議会は久方ぶりに14人の定員を満たし、4人の新人議員も加わることで、心機一転で

スタートを切ることができました。また町長をはじめ町側も新しい顔ぶれとなり、改選後初の定例会では補正予算に対する審査特別委員会を設置するなど、細部にわたり十分に審議を尽くして、充実した議会でした。

ただ山積する喫緊の課題が多いのも事実であり、議会としても町と両輪のごとく、お互いに政策を交わしていきけるように今後鋭意努力してまいります。

また町民の皆様からの信頼もより一層得られるよう、議会自体も改革していく所存です。

今後とも議会活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

山ノ内町議会委員会等名簿

◎委員長 ○副委員長
令和5年6月1日現在

委員会名	所管	委員
常任委員会	議会・総務課・税務課・危機管理課・消防課・会計室・選挙管理委員会・監査委員・農林課・観光商工課・農業委員会・建設水道課等に関する事項	◎塚田 一男 ○小田 孝志 志鷹 慎吾 徳竹 栄子 渡辺 正男 小林 克彦 湯本 晴彦
	健康福祉課・教育委員会に関する事項	◎高田 佳久 ○畔上 恵子 小林 仁 湯本 るり子 山本 岩雄 山本 光俊 白鳥 金次
	議会だより・議会ホームページ等に関する事項	◎渡辺 正男 ○山本 岩雄 小田 孝志 畔上 恵子 小林 仁 徳竹 栄子
議会運営委員会	議会運営・議会会議規則等・議長諮問に関する事項	◎山本 光俊 ○徳竹 栄子 志鷹 慎吾 塚田 一男 高田 佳久 渡辺 正男
議会選出監査委員	小林 克彦	
北信広域連合議会議員	湯本 晴彦 白鳥 金次 高田 佳久	
北信保健衛生施設組合議会議員	湯本 晴彦 白鳥 金次 高田 佳久	
岳南広域消防組合議会議員	湯本 晴彦 白鳥 金次 塚田 一男	

第134号
令和5年7月25日 (2023)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは
こちらから

議会フェイスブックは
こちらから

もくじ

議会構成決定・議長あいさつ……………20

第2回臨時会関連記事……………21

新議員紹介・編集後記……………23



議会選出監査委員
小林 克彦



議会運営委員長
山本 光俊



広報常任委員長
渡辺 正男



社会文教常任委員長
高田 佳久



総務産業常任委員長
塚田 一男

令和5年第2回臨時議会

4年度一般会計補正予算(第11号)

財政調整基金に5500万円積み立てへ

令和5年第2回臨時議会は、6月1日に開催されました。

第19代議会前期の構成を決定したほか、町側からは監査委員の選任同意1件、報告3件、専決処分承認(4年度各会計補正予算、条例改正、5年度一般会計補正予算)11件が提案され、すべて原案のとおり、同意、受理、承認しました。

専決処分の承認

4年度一般会計補正予算(第11号)

予算総額から歳入歳出それぞれ2億3868万円を減額し、予算総額をそれぞれ82億9958万円とするものです。

各種の事業費確定による減額補正が大きく、財政調整基金からの繰り入れ3億1773万円を皆減し、逆に5500万円を積み立てます。

《歳入の主なもの》

- 町税 1250万円
- 法人事業税交付金 1428万円
- 地方消費税交付金 4600万円
- 特別交付税 1億1838万円
- 国庫支出金 3734万円
- 県支出金 3468万円

基金繰入金

- △3億2915万円
- 町債 △4720万円

《歳出の主なもの》

- ふるさと基金積み立て 2224万円
- 財政調整基金積み立て 5500万円
- コロナ対策予防費 △1724万円
- 心身障害者等福祉費 △2790万円
- 児童福祉総務費 △2094万円
- 保育所費 △1674万円
- がん検診ほか予防費 △1475万円
- 農畜産業振興事業補助金 △903万円
- 観光連盟事業補助金 △478万円
- 町道除雪 △1318万円

4年度国民健康保険

特別会計補正予算(第5号)

保険給付費5年ぶりに

10億円を下回る見込み

予算総額から歳入歳出それぞれ1億7715万円を減額し、予算総額をそれぞれ14億8263万円とするものです。

る見込みです。

《歳入の主なもの》

- 県補助金 △1億6741万円
- 一般会計繰入金 △302万円

《歳出の主なもの》

- 保険給付費 △1億6890万円

4年度介護保険

特別会計補正予算(第3号)

予算総額から歳入歳出それぞれ3366万円を減額し、予算総額をそれぞれ18億9488万円とするものです。

145万円を減額します。

《歳入の主なもの》

- 基金繰入金 △3145万円

《歳出の主なもの》

- 居宅介護サービス給付費 △2300万円
- 施設介護サービス給付費 200万円

第19代議会

議長・副議長選挙結果

5月16日、当選議員による初めての懇談会が行われ、初議会の運営方法を決め、議長、副議長の立候補を受け付けました。また、6月1日第19代議会議員最初の議長・副議長の選出は、議員内での選挙で行われました。

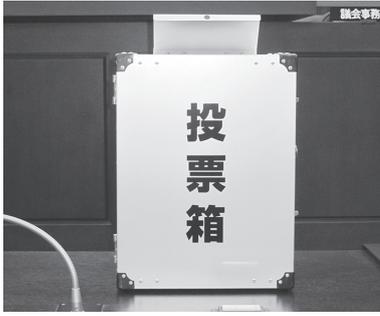
立候補者

議長選挙

- ・高田 佳久
- ・湯本 晴彦

副議長選挙

- ・渡辺 正男
- ・白鳥 金次



選挙方式

- ・投票による選挙
- ・投票は単記無記名（1人の名前だけを書き、投票者名は書かない）

議長選挙開票結果

- ・湯本 晴彦 8票
- ・高田 佳久 4票
- ・無効 2票

副議長選挙開票結果

- ・白鳥 金次 11票
- ・渡辺 正男 3票

選挙後、各常任委員会の選任を行ったあと、常任委員会において、委員長並びに副委員長を互選で選任しました（委員会構成に関しては、20ページ参照）。

監査委員には小李克彦議員

6月1日、4月の町議会議員改選後初、令和5年第2回議会臨時会が開催されました。町側から提案のあった案件は以下のとおりです。



人事案件

監査委員（議員のうちから選任する監査委員）

- 小林 克彦（下須賀川）
- 起立 13人
- 不起立 0人

専決報告

令和4年度一般会計予算の繰越報告

- (1) 地域鉄道安全性向上事業補助金 487万円
- (2) 塵芥車購入事業 1260万円
- (3) 国立公園整備事業 1861万円
- (4) 土砂災害対策道路事業「町道湯田中番場沓野線安代坂」 1983万円
- (5) 統合小学校整備計画策定支援業務

専決事項

685万円

- (1) 自動車損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定 賠償金19万円
- (2) 放棄した私債権の報告 債務者15人

専決承認

補正予算に関しては、令和4年度の事業確定による補正が主です。

- (1) 一般会計（第11号） ※21ページ参照
- (2) 一般会計（第12号） 歳入歳出の総額をそれぞれ82億9958万円とする
- (3) 国民健康保険特別会計（第5号） ※21ページ参照
- (4) 後期高齢者医療保険特別会計（第2号） 別会計（第2号） 歳入歳出それぞれ501万円増
- (5) 介護保険特別会計（第3号） ※21ページ参照

- (6) 公共下水道事業会計（第2号） 歳入歳出それぞれ20万円減
- (7) 農業集落排水事業会計（第2号） 歳入478万円減、歳出217万円減
- (8) 水道事業会計（第5号） 歳入歳出それぞれ25万円減
- (9) 税条例の一部を改正 森林環境税の導入に伴う住民税の賦課徴収の整備にかかるものと、長寿命化に資する大規模修繕工事が行われたマンションにかかる固定資産税の減額処置、軽自動車税の環境性能割の税率区分の見直しのため（電動キックボードの新設など）。
- (10) 国民健康保険条例の一部を改正 課税限度額と軽減判定所得の基準額引き上げ。また2割軽減にかかる限度額も引き上げのため。
- (11) 令和5年度一般会計（第1号） 歳入歳出それぞれ881万円増

新議員紹介

<p>質問</p>	<p>小田 孝志</p> 	<p>畔上 恵子</p> 	<p>小林 仁</p> 	<p>志鷹 慎吾</p> 
<p>議員としての抱負</p>	<p>二元代表制の中で議会の果たす役割と責任は大きい。議会の持つ二つの使命「具体的な政策の最終決定」「行財政運営の批判と監視」をしっかり果たし、その結果として、よいまちづくりができるよう切磋琢磨して、自己研鑽に努めたい。それを町民が見て議会に関心を持っていただければ本望。</p>	<p>誰ひとり置き去りにしない、子どもからお年寄りまで、元気で安心して生活ができる。そして未来の子どもたちが、胸を張って様々な分野で活躍できる町を、構築していきたい。どんな小さな声も大切に吸い上げ、形として実現していきたい。</p>	<p>立候補した時から先の一般質問でも述べましたが、町民皆様の上に立つ様な存在ではなく、皆様の中に居て、そのすぐ目の前に居る、そんな身近な存在でありながら活動していきたいと強く決意しております。自身の出身地域に拘ることなく、山ノ内町全域の皆様と共に魅力ある我が町を創り上げていきたい。</p>	<p>地域住民のために、住民からの声を聴き、具現化をしていきたい。特に次世代の若者が住んでいて良かったというような町にしていきたい。ロボットや自動温度管理を活用したICT農業、タブレットや電子教材を活用したICT教育など、環境を整えて実践・活用ができるようにしていきたい。</p>
<p>初議会の感想</p>	<p>一般質問では事後に多くの指摘をいただき、課題の多さを痛感。一つの事柄を深く追求していくことの重要性を実感した。一方、執行部側の簡潔明瞭かつ丁寧な答弁に誠実さを感じた。議員としての責任の重さを自覚した中で町民の声をしっかり町政に届けられるよう見聞を広め、日々勉強していく決意。</p>	<p>何もかも初めてのことで、緊張の連続でした。自分がこの場にいることの驚きと、議員としての責任、これからの様々な不安。とにかく、法律のことから一つ一つ自分のものにしながら、力をつけたいと思います。一般質問では、事前準備の大切さを感じたと同時に、答弁を受けての再質問の難しさを痛感しました。</p>	<p>一般質問は大変緊張しました。背伸びせず自身の生活や経験に基づいた事柄や、理事者の皆様の山ノ内に対する熱い思いをお聞きできたこと、本来の一般質問のレベルには遠く及ばないものだったかもしれませんが、自身としてはお聞きした皆様の言葉に非常に胸が熱くなりました。</p>	<p>とにかく初めて尽くしで大変でした。一般質問に至っては反省すべきことも多く、今は議員として発言する際の重みを痛感している次第です。また一日も早く、先輩議員の方々にご指導ご鞭撻を賜り、勉強をし、見聞を広め、町民とのコミュニケーションを深め、住民の声を町政へ届けたいと思います。</p>
<p>町政への提言</p>	<p>人口減少は町にとって大きな課題。それは町に魅力がないから？「スキー場」「温泉」「果樹」それらをうまく結びつけることにより経済の活性化を図り、魅力ある町となれば自ずと人は集まってくると思う。</p>	<p>豊かな資源と自然、誇るべき素晴らしい町です。人も隠れた魅力をお持ちの方が、たくさんいると確信します。そんな方々を見つけ育てていく、人づくりがとても大事だと思います。</p>	<p>古き良き山ノ内町は私も大切にしたいと思いますし、誇りでもあります。しかしながら、時代がとてつもなく速いスピードで移りゆく現在では、やはりアンテナを高く張りトライアンドエラーを恐れず挑戦することも絶対に必要だと考えます。皆様と自身のためにも今までにない山ノ内町の結束力を任期中働かせていきたいと思います。</p>	<p>少子高齢化、人口減少などすでに抱えている課題にスピード感をもって取り組むべきです。さらに子どもも学校教育だけではなく、学校以外の教育環境も含め、子どもたちを町全体で育てるように早急に考えていくべきです。そのためにも町の豊富な資源を活かし、環境を整えることが大切だと思います。</p>



広報常任委員会新メンバー

編集後記

今号から新広報常任委員会（20ページ参照）が編集を担当します。諸事情から今号では、令和5年第2回臨時会の内容をお伝えし、第3回定例会（6月議会）については、8月発行の次号でお伝える予定です。これからも、分かりやすく、親しみを持っていただける誌面づくりに心がけてまいります。よろしくお願いたします。

（渡辺正男 記）